

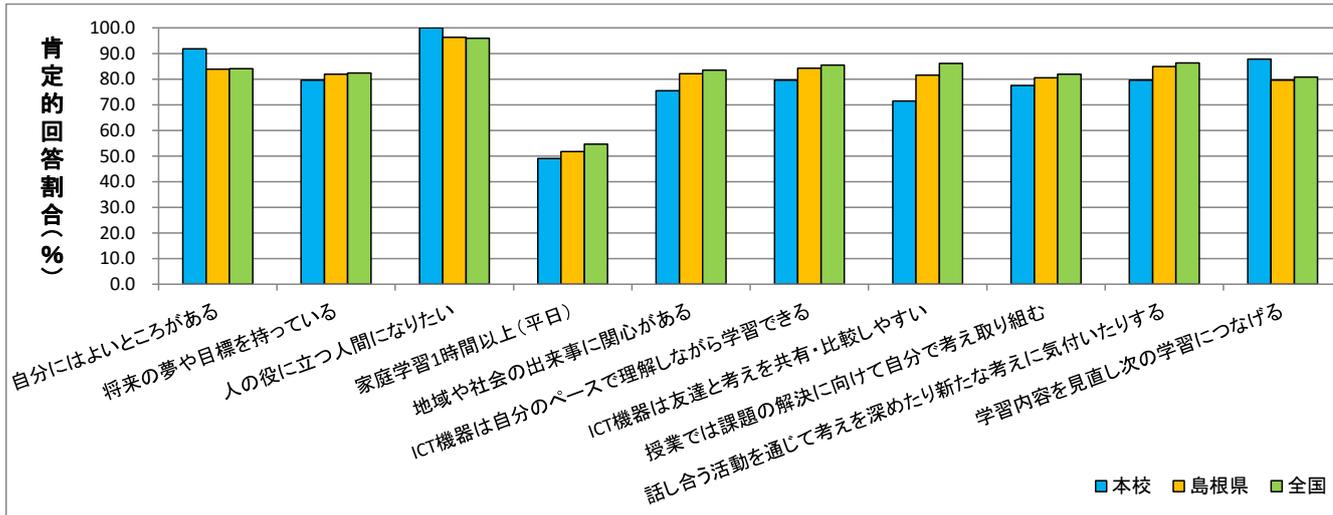
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策(・)
国語	○問題を積極的に解こうとしている(ほとんどで無回答率が低い)。 ●読み取りが苦手。 ●語彙力が不十分(漢字など)。	・図書館教育のさらなる充実を図り、課題を解決するための読書カードや図書館での調べ活動などを通して、表現力、語彙力、読解力を育む。 ・児童を主体とした学びを展開し、個別最適な学びや「対話」を中心とした協働的な学びを効果的に取り入れ、普段から自分事として深く考えられる力をつける。
算数	○最後の問題まで回答できる児童が多い。 ○データの読み取りが良く理解できている。 ●基礎的計算力や問題の概要をとらえる力が(イメージ力)が弱い。 ●課題の解決方法を論理的に説明することが苦手である。	・全校を挙げて取り組んでいる計算会の実施に加え、タブレットドリルの効果的な活用、家庭学習の工夫・充実を通して、基礎的計算力を高める。 ・児童が数字や図などを根拠に、自分の言葉で説明する場面を意図的に設定する。

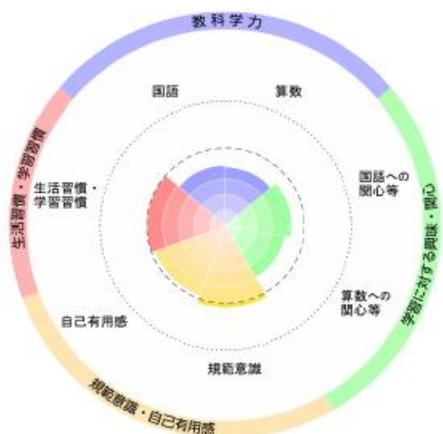
(2)質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策(・)
質問紙	○人を助けたい、役に立ちたいという意識が高く、自己肯定感も高い。 ●算数の勉強に対する苦手意識が強い。 ●平日の学習時間の倍以上をテレビゲームや動画視聴の時間にあてている実態がある。	・交流センターの放課後事業やてらこや事業のさらなる周知を図り、地域とともに児童を育てる一助とする。 ・メディアとのより良い付き合い方についての研修を計画的に実施する。

(3)質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)



(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・校内研究として、ICT等を有効に活用したユニバーサルデザインの授業づくりに取り組む。  
・対話を主に、協働的・個別最適な課題設定を追求し、子どもとともに創る授業を目指す。

【受検者数】

51名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。